

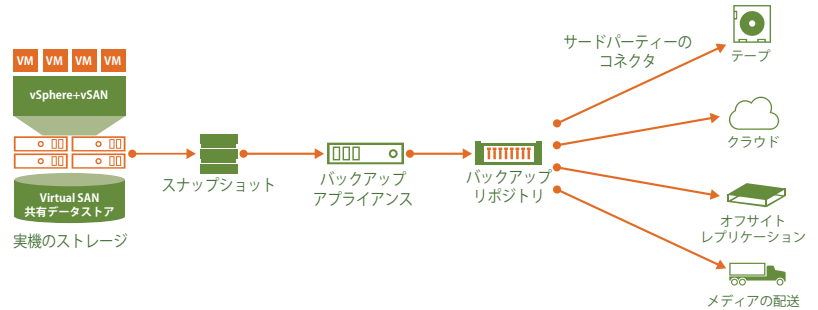
VMware vSAN環境におけるデータ保護

複雑なVMwareデータ保護

仮想化により、サーバーや一次記憶装置の利用率は劇的に向上されました。またVMware Virtual SANの登場により、従来型仮想化環境に必要とされた高価な共有ストレージも不要となり、プライベートクラウド環境の構築は非常にシンプルになりました。

しかし、このような仮想環境の保護や増え続ける構造化/非構造化データのために、オンプレミスにはいまだに複雑な二次記憶モデルが必要とされ、多大な管理工数とインフラ費用が生じています。

また、事業継続性と情報がバランズに関するビジネスニーズは年々高まっています。こうした中で、従来とは異なるインフラ回復性および長期保存によるデータ保護要件を具現化する方法が求められています。



クラウドによるデータ保護への期待と課題

クラウドは弾力的にワークロードを処理し、低コストなストレージモデルを使用できるため、データセンターの代替として大きな可能性を秘めています。しかし、クラウドを既存のインフラと連携させる場合、以下のような課題が生じます。

- ・ 従来の二次ストレージやテープ向けに設計されたバックアップのアーキテクチャと、クラウド環境におけるアーキテクチャとの不一致
- ・ オンプレミスの各機器における回復性と拡張性のボトルネック
- ・ 複数の階層化されたストレージ、複数ベンダー、部分的ソリューションのつぎはぎによる非効率性
- ・ 非効率的な重複排除：複数の再結合 / 重複排除手順
- ・ クラウド環境の構築、運用、課金のノウハウ不足と人員不足

不慣れた複数のアーキテクチャ要素やベンダーが存在すると最終的には全体のプロセスが複雑になり、高価でエラーが起きやすくなります。また、環境におけるデータの分散化とともに、データの保管場所やガバナンスに関する新しい規制が問題をさらに複雑にしています。

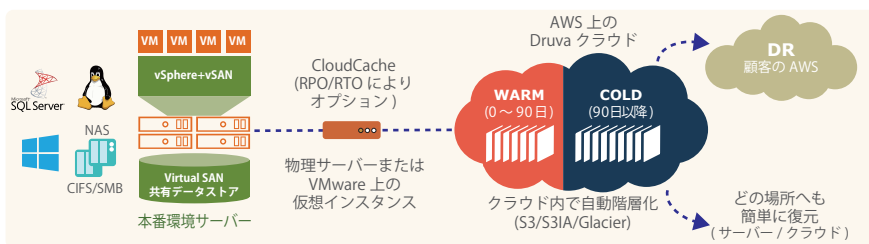
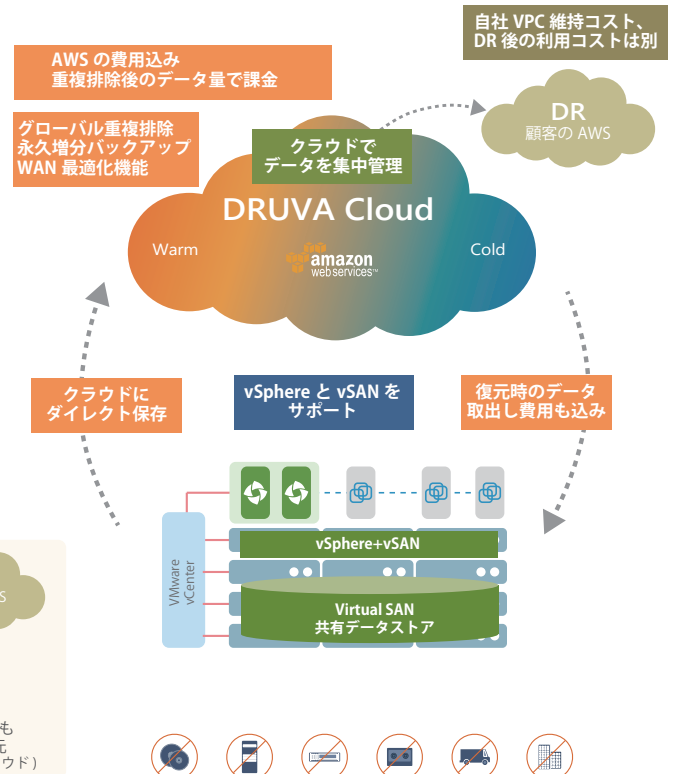
Druva PhoenixによるVMware環境のデータ保護

これらの課題を対処するため、Druva Phoenix はバックアップ、ディザスタリカバリ、長期アーカイブ、分析機能を統合し、VMware 環境を保護するために設計されたクラウド型のデータ保護を提供します。VMware と Druva が密に連携することで、仮想化ソリューションの最善の組み合わせと、迅速なクラウドデプロイメントによるデータ保護の恩恵を受けられるようになります。

Druva Phoenix は AWS パブリッククラウド上で構築され、簡単、安全で、拡張性が高いとともに、AWS の全リージョンでグローバルに展開することができます。

クラウドへダイレクト、ハードウェア不要のバックアップ/アーカイブ

Druva Phoenix の利用に、高価なハードウェアやソフトウェアは不要です。AWS 利用費用を気にすることなく、オンプレミスのワークロードをクラウドへ直接バックアップ/アーカイブでき、クラウド DR を利用することができます。

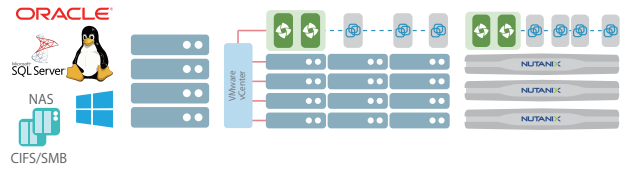


ハードウェアや他社ソフトウェアは不要

クラウドにダイレクトにバックアップ、復元、アーカイブが可能です。必要に応じてクラウドにDRが可能で(DRaaS)。追加ハードウェア、ソフトウェア、煩雑な管理は不要です。(CloudCache 利用時は別途ハードウェアまたは仮想インスタンスが必要になります。)

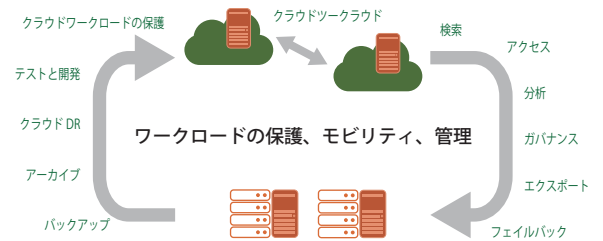
様々なワークロードをサポート

Phoniex は VMware vSphere 環境において、VADP プロキシを使用したエージェントレスによるクラウドへのダイレクトバックアップをサポートします。また VADP の CBT (Change Block Tracking) 機能を利用することで、vSAN 上のデータをクラウドへ効率的に差分バックアップすることが可能です。仮想化されたワークロード以外にも、MS SQL や NAS のワークロードもエージェントを使用してシステムを中断することなくバックアップすることができます。



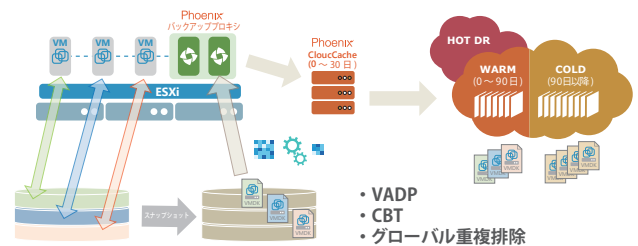
高い復元性、可用性、拡張性とワークロードの可搬性

Druva Phoniex は高い復元性 (Resiliency)、可用性 (Availability)、拡張性 (Scalability) を実現し、すべてのリモートサイトの情報を集約してガバナンスを提供します。さらにワークロードの可搬性と DR (災害復旧)、Test&Dev (テストと開発) やクラウド上へのワークロードの移行を実現します。



VMware連携

- **vCenter 連携**：仮想マシンの自動検出、CBT (変更ブロック追跡) 設定、ゲスト OS の処理およびバックアップ実施を、バックアッププロキシにより連携します。
- **ポリシーによる集中管理**：VM Group、RPO、RTO のポリシーや、保存方式を簡単に設定できます。
- **プロキシの負荷分散**：vCenter で複数のバックアッププロキシをデプロイし、多数のバックアップ要求を自動的に負荷分散するよう設定することができます。



Druva Phoenixの特長

クラウドネイティブ 無限の拡張性 中央集中管理	高効率化と高い費用対効果 バックアップ サーバー ストレージ ハードウェア テープ 社内設備不要 永久増分と高効率な グローバル重複排除 従量課金モデル	高セキュリティと各種認証準拠 ベンダーによるデータ アクセス不可、データ主権	データの価値活用 クラウド DR、 分析 & ガバナンス	シンプルで使いやすい 管理インターフェイス
--	---	---	---	--------------------------------------

Druva Phoenixライセンス体系

プラン名	Business	Enterprise	Elite
ファイルサーバーのバックアップ Windows Server と Linux のバックアップ	●	●	●
SQL サーバーのバックアップ MS SQL Server のアプリ対応バックアップ	●	●	●
VMware のバックアップ VMware 仮想マシン (VMDK, VMX) のバックアップ	●	●	●
グローバル重複排除後の従量課金	●	●	●
VMware のファイル単位の復元	●	●	●
クラウドキャッシュ機能 社内サーバーへの一時的な保存による高速化	●	●	●
マルチサイト管理のサポート サーバーやバックアップポリシーの論理分割	●	●	●
マルチリージョンのサポート 複数の AWS リージョンが使用可能	●	●	●
Cloud DRaaS (災害復旧) / テストと開発		オプション	●
データの分析と検索 ※将来予定			●

Phoenixエージェント

サポートするプラットフォーム

- | | |
|--|---|
| Windows Server
• Windows Server 2016, 2012 R2, 2012, 2008 R2, 2008 (64ビット)
• Windows SBS 2011 (64ビット) | Linux
• CentOS 6.3~6.8, 7.0~7.2 (64ビット)
• RHEL 6.3~6.8, 7.0~7.2 (64ビット)
• Ubuntu 14.04, 16.04 (64ビット)
• Oracle Linux 6.8 (64ビット)
• SUSE Linux Enterprise Server (SLES) 11.4, 12.2 (64ビット) |
|--|---|
- VMware**
 • ESXi Standard 5.5, 6.0, 6.5
 • vCenter Server Standard 5.1, 5.5, 6.0, 6.5

ファイルサーバーおよびSQLサーバー向けPhoenixエージェント

ハードウェア	最低要件
CPU	• 2.0GHzデュアルコア (Intel Core) • 2.4GHz (AMD) または同等相当
RAM	4GB
ディスク空き容量	• Windows ServerおよびLinuxサーバーでは C:\ または /var にそれぞれ合計ソースデータの2%の容量が必要 • Windows ServerではVSSスナップショット用に10%のボリュームサイズが必要

まとめ

分散環境における仮想マシンのバックアップおよびリストアの管理は、多くの人員と複雑なインフラが必要となる手間のかかる作業です。Druva Phoenix は環境に全く影響を与えないクラウドダイレクトのソリューションを使い、グローバルに分散された VMware 環境のバックアップとリカバリを一元化することにより、プロセスとインフラを効率化します。新規ハードウェアやソフトウェアが不要となり、管理時間が短縮されることにより、業務の俊敏性を向上させ、全体のコストを劇的に削減します。

詳しくはホームページへ ▶▶▶ jp.druva.com



30日間の無償評価ライセンス

30日間、Druva Phoenixをお試しいただける評価ライセンスを無償で発行しております。お気軽にお問い合わせください。

Druva合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2
 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ3階
 グローバルビジネスハブ東京 BD342

E-mail: japan-sales@druva.com
 URL: jp.druva.com

2017年10月現在